



TCA ニュース

= 2014年 3月発行 = 【No. 271】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

<http://tokyo-cycling-association.com>

〒104-0061 中央区銀座7-15-11-1201 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 ①輪楽・自転車を楽しむ ②行楽・旅を楽しむ ③道楽・道を楽しむ ④友楽・友と楽しむ ⑤遊楽・遊びを楽しむ

事務局からのお知らせ

2014(平成26)年度理事会、評議員会開催のお知らせ

第40回理事会を、4月8日(火)午後7時～9時まで、文京区民センター2B会議室で行ないます。今年3月末で理事の任期(2年)が終り改選となります。新年度の理事の候補者について立候補、推薦があれば3月31日までに事務局へ申し出てください。

主な議題 ①平成25年度活動報告、収支決算報告 ②平成26年度活動計画、予算案
③理事の改選 ④その他

第20回評議員会及び第41回理事会を、4月22日(火)午後7時～9時まで、文京区民センター3C会議室で行ないます。主な議題は、上記と同じです。

東京センチュリーライド スタッフ募集

「東京センチュリーライド」を例年通り5月4日(日)に開催いたします。ついては、スタッフの募集を行ないます。ご協力をお願いします。ご協力いただける方は、事務局までご連絡ください。当日は、7時迄に「大島小松川公園自由の広場」に集合です。また、スタッフは印鑑を持参して下さい。指導者の方は、指導者証も持参願います。詳細は、Eメールもしくは郵送にてお知らせします。

タンデムの集い日程が決まりました

2014年の『視覚障害者とタンデムを楽しむ集い』(都盲協共催)の開催日が下記の日曜日に決まりました。今年も5回計画しています。

- パレスサイクリング 第88回 4月6日(日) ・ 第90回 6月15日(日)
第91回 8月24日(日) ・ 第92回 10月26日(日)
- 神宮外苑サイクリングコース 第89回 5月11日(日)

~~~~~



## 第5回渡良瀬ミーティング & 前泊のお誘い

2014年4月13日(日)、第5回渡良瀬ミーティングが開催されます。

恒例となった渡良瀬ミーティング(関東甲信越サイクリング協議会主催)に今年も前泊の宿を準備しています。今年は、一昨年まで利用していた「つつじが岡パークイン」に神奈川県協会(KCA)、ESCAのOBと合同宿泊で計画していますので、大人数で盛り上がりそうです。

- ◆ 日程 : 2014年4月12日(土)～13日(日) 1泊2日
- ◆ 宿 : 「つつじが岡パークイン」(館林サイクリングターミナル) TEL: 0276-75-8484
- ◆ 参加費 : 8,000円(一泊二食、懇親会費込み) JCA会員限定  
TCA事務局に振り込むか、事務局まで持参下さい。
- ◆ 定員 : 30名程度を想定していますが、合同ですので先着順で締め切りとなります。



# 伊豆大島「椿まつり」ラン

《 2014年3月7日(金)～9日(日) 》

TCA理事 北野 良

3月7日の夜から9日夜までの日程で、毎年恒例となっている伊豆大島一泊ランに参加した。2012年、2013年と見送りに竹芝栈橋へと向かったことはあるが、実際に参加するのは今回が初めてである。

## 【3月7日(金)夜】

この日は会社を午後を休みとし、出来ていない準備を自宅で行い、18時頃到着するように出発した。自転車は月曜日にサナエから借り受けたMTBを前日に駐輪場へ停めておいたので、浜松町から自転車に乗り竹芝栈橋へと向かった。

集合場所には内田さんが輪行の準備をしていたので、私も隣で自転車の解体を始める。

やがて集合時間の20時に合わせて参加者が集まってくる。今回は14名の参加者だ。例年に比べると若干少ないとか。これから東海汽船の「かめりあ丸」で出港し、翌朝の5時に大島へ到着するのである。

出港までの間で藤田さんと共に買出しに向かう。毎年付近で買出しを行い、Bデッキの舞台上で酒盛りを始めるのが恒例だそうだ。まずは船室に向い、荷物を置いてからBデッキに向かう。すでに藤田さんが設営を完了させていた。デッキから港を見てみると、今回参加できなかった中村さんが一人で出港まで送迎デッキで見送ってくれていた。

やがて船が出港し、宴会が始まる。3月とはいえ夜の海上はやっぱり冷える。横浜港を出たあたりから下にある売店前の食堂に避難した。

結局、最後は3時頃まで飲んだ後、船室に戻る。2時間ほど仮眠とは言えない仮眠を取り、船を下りた。

## 【3月8日(土)】

大島には東海汽船が寄港する港が岡田と元町との二ヶ所がある。天候や時期によって変わるそうだ。今回は岡田港に降り立った。

岡田港で朝海館の若旦那兄弟がマイクロバスと乗用車で迎えに来てくれる。それぞれの自転車を積み込み本館へ。7時半から朝食が取れるとのことだったので、それまでの間、各々が仮眠を取ったりして時間をつぶす。朝食は焼き鮭に納豆、味噌汁など典型的な日本の朝食だったが美味かった。ある人は4膳もご飯をお代わりしていた。

9時から大島一周道路をぐるっと回るのが初日の計画だったが、急遽ルートが変わり、結局大島椿公園の先からあじさいレインボーロードを進み、湯場の交差点から藤田さんが電話で予約した紀洋丸へ下って昼食を取り、元町港に出た後、昨年の台風26号の被災現場を見学、切り取られていた映像より現実はずいぶん酷い。献花台で献花をして火山博物館を見学、ぶらっとハウス、朝海館別館のコテージへと戻ってきた。

ひと段落してから浜の湯露天風呂に向かい、温泉につかりながら日の入りを鑑賞。酒類の追加後、夕飯はコテージでバーベキューだった。14人前だからなのか、思ったより肉も野菜も魚介類も多く、最後にぶらっとハウスで藤田さんが買っていた大島バターで作るポップコーンを食べ、



郷土料理「雑魚や」紀洋丸にて

21時ごろには私は寝入ってしまった。他のみんなは食堂で二次会を行っていたようだが・・・。

## 【3月9日(日)】

本日は13時に朝海館本館に集合し、14時半出港の船で竹芝に戻る。

グループを高橋・倉持率いる三原山山頂口まで行く健脚組と北川率いる大島一周道路を筆島まで行くへっぽこ組とに分かれることになった。へっぽこな私はもちろん後者である。

へっぽこ組は北川・山本・中田・斉藤・飯川・北野の6名である。

大島スタンプラリーも一緒に進めていたため、途中まで健脚組と一緒に椿・花ガーデン（旧リス村）に行き、その後山登りと元町行きとに分かれた。

北川組は北川さんらしく、当初は筆島までの計画が、椿・花ガーデンについて途端に波浮の港に縮まり、途中よった愛宕山山頂について瞬間には千波断層と変わり、元町にある旧為朝の館跡を見た後ではこれから御神火温泉でくつろいで宿に引き返す計画となった。

帰路は途中でふるさと民芸館によりスタンプの追加、その後は一路朝海館に向かって走る。

朝海館に12時半にいたが、すでに健脚組の数名は到着し、帰宅の準備をしていた。

私は倉持・石田・中田の三名と同様に島から自転車を送ることにした。どう考えても自転車とリュックと荷物を持って移動するのはかなりしんどいからである。

旅館で着替えを済ませ、港に行き食事を取ったり、土産を買ったりした。

乗船直前に朝海館の若旦那がバーベキューで未使用だった焼きそばを調理して届けてくださった。船内で酒盛りすることを見越してつまみにと持ってきてくださったのである。

出港時間直前に乗船し、あんこさんに見送られながら大島を出港した。

出港してからデッキに上がり、酒盛りの開始である。若旦那の焼きそばは、あつという間に無くなり、酒も無くなりそのまま船室に戻る。

竹芝栈橋に到着すると小笠原副会長と中村事務局長が出迎えにきてくださった。出港前と同じように全体写真を撮り、その後解散となった。

中村さんを含む有志8名は浜松町の「天狗」に向かい10時まで飲んでから解散となった。

今回生まれて初めて降り立った伊豆大島。一周はできなかったが、十二分に楽しめた。コテージでの寝泊りも楽しかった。何より一緒に走ってくれる仲間がいたからこそ、また遊びに行きたいとの気持ちになれるのであろう。

~~~~~

パレス乗り方教室に参加してから会員に

TCA会員 松本 一也

自転車乗り方教室の門を叩いたのは、何としてもロードバイクに乗りたい、という強い思いからだ。正に五十の手習い。自信などまるでない。

ロードバイクとの出会いは、ポタリングの楽しさをテーマとした「自転車女子始めました」（北条晶著・竹書房刊）というマンガから。自転車で訪ねた先の景物や食事は格別、というテーマに深く魅せられた。自分もやりたい！ 独学では何も出来ず、困り果てていたとき、丸の内に自転車乗り方教室があることをウェブで知った。2012年も暮れかけた頃。年が明け、教室に足を運んでみると、共に学ぶのは小学生ばかり。

まず、両側のペダルをクランクから外し、両足で同時に地面を蹴り、バランスを取りながら進む練習。

生徒は10人以上いるが、それを指導員3、4人が常に鋭い目を光らせている。頼もしい。

次は右ペダルをつけ、左足で地面を蹴り、右ペダルを回す練習。最後は左右のペダルをつけ、発進停止を無難に出来るまでの練習。卒業試験は、内堀通りをサイクリングとなる。

数時間で終了し、両親に褒められながら帰って行く子もいれば、自分のように三回通ってようやくに修了証を受け取ることもある。文字通り千差万別の世界。

子供達に出来て自分に出来ず、唇を噛みしめることの連続で、初志を失いかけることもしばしば。こんな自分に向けられるは、指導員の誰にも悲惨な交通事故を一件でも減らしたい、一つでも多くの笑顔を見たい、という熱意だった。これにこたえれば初志を貫ける、と思った。

三回目に通ったときの修了証は重かったもののまだまだと実感していた。

一年経った今では、10km単位の移動を自らの脚で実現出来る。指導員の方々にこの場を借りて御礼申し上げたい。ありがとうございました。

【2月末現在 会員349数名】

第11回 東京センチュリーライド

{ 開催要項 }

- 主催：東京サイクリング協会
- 日時：2014（平成26年）5月4日（日・祝） *雨天決行 7時～8時 受付
- 会場：荒川緊急用河川敷道路
スタート/ゴール 大島小松川公園自由の広場（都営・東大島駅小松川口東側より3分）
- 内容：(1) F（フル）クラス（150km） 制限時間 8時間
(2) H（ハーフ）クラス（80km） 制限時間 5時間
(3) Q（クォータ）クラス（40km） 制限時間 3時間
- 参加費：一般 5,000円 JCA賛助会員 4,000円
- 参加者：16歳以上で自らの力でコースを走行できる方。18歳未満（※）は保護者の承認要
- 定員：各クラス100名 Fクラスは、過去に同様の大会の参加経験が必要です。
- 申込：(1) 参加費を下記の口座（TCA事務局口座）に払い込んでください。
①郵便振替：口座番号 00100-9-190048 東京サイクリング協会
下記の申込書内容を振替用紙に記載頂ければ申込書の郵送は不要です。
②銀行振込：三井住友銀行銀座支店 普通口座 7401968 東京サイクリング協会
(2) その後申込用紙に必要事項を記入して下記に郵送してください。
〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-11-1201 中村方
東京サイクリング協会 東京センチュリーライド実行委員会
- 締切：2014年4月18日（金）までに必着（但し、定員になり次第締め切ります）
- 注意事項：
 - コース図・ゼッケン等は主催者が準備しますが、自転車・修理用具・携帯食料・飲物等は参加者が各自持参してください。特に車検は行ないませんが自転車の整備（前照灯、前後ブレーキ、警音器等を装着）は各自が責任を持って行なってください。また、**ヘルメットの着用及びグローブ（手袋）をしましょう。**
 - 走行中の事故については参加者個人の責任で処理してください。他人を巻き込んで事故が起きた場合は、当事者間で処理を行なってください。
 - 荒天等で中止の場合でも参加費の払い戻しは行ないません。
 - センチュリーライドとは、センチュリー（100マイル=160km）の距離を走ることを目標として、今回は、フル（150km）、ハーフ（80km）、クォータ（40km）の距離で行なうもので、決められたコースを各自のペース（基本的には単独走行）で走ります。
 - スタート・ゴールの他、コース上の主要地点にサポートポイントを置き、スタート時刻を指定し所要時間を記録しますが、競走でも集団走行でもありません。公道を使用しますから交通規則は遵守し、特に歩行者を優先してください。
 - 傷害保険については、大会主催者が一括して加入します。

※個人情報 は 行事運営 および 関連する 情報 発送 の ため の みに 使用 し、 個人 情報 の 保護 を 徹底 し ます。

-----切り取り線-----

第11回 東京センチュリーライド参加申込書

クラス：F（150km）、H（80km）、Q（40km）（いずれかを○で囲う） 平成26年 月 日

フリガナ _____ JCA会員番号 _____

氏名 _____ 性別 _____ 生年月日 _____ 年齢 _____ 才※

住所 〒 _____ ※保護者承認 _____ 印

電話・携帯電話 _____ メールアドレス _____

過去の参加実績(大会名・開催日を記入) _____